

国自整第 1 2 7 号の 5
平成 2 8 年 7 月 2 6 日

独立行政法人自動車技術総合機構理事長 殿

国土交通省自動車局整備課長

三菱ふそうトラック・バスの大・中型バスの車両床下部の腐食点検について

三菱ふそうトラック・バス株式会社の大・中型バスの車両床下部（フロントタイヤハウス部又はリヤタイヤハウス部）において、適切な点検・整備が実施されていないため錆が発生して腐食が進行すると、部材の板厚の減少や穴あきに至り、強度低下による破断・破壊が発生します。特に、独立懸架車において、フロントタイヤハウス部のセンターメンバーが腐食すると、最悪の場合、ロアアームが脱落してハンドル操作が不能となります。これまでハンドル操作不能の不具合情報は 8 件あり、人身事故が 3 件発生しています。

このため、同社はホームページへ点検要領書等を掲載したほか、平成 28 年 4 月開始のサービスキャンペーンにより、昭和 52 年 12 月～平成 28 年 4 月に生産された、大型バス「エアロバス」「エアロスター」「エアロエース」「エアロクイーン」「エアロキング」（車両）及び中型バス「エアロミディ」の使用者に対し、定期点検項目「車枠及び車体」の緩み及び損傷の点検方法として、1 年に一回の打音点検によることを追加したメンテナンスノートの追補版と点検実施要領をダイレクトメールで配布するとともに、車両床下部の点検を呼び掛けています。《参考資料参照》

このサービスキャンペーンに併せ、特に点検の必要性の高い製造年が平成 19 年以前の独立懸架車 14,788 台について、同社系列の販売店が電話又は訪問により使用者へコンタクトを行い、点検の実施を呼びかけるとともに結果の把握を行ってききましたが、点検結果が把握できたのは 3,162 台であり、うち 33 台は運行停止が必要な状態（保安基準不適合状態）にありました（平成 28 年 7 月 10 日現在）。なお、当該 33 台は地方運輸局等を通じ運行停止等の対応が取られていることを確認済みです。

今般同社は、未だ点検結果が分からない車両 11,626 台を中心に、点検の促進・徹底を図るため、①販売会社からの連絡に加え、同社にコールセンターを設置し 8 月 19 日までに使用者へコンタクト②同社系列の販売店において、10 月末までを無料期間に設定し、無料点検を実施することとしました。

つきましては、下記事項について留意の上、業務に当たられますようよろしくお

願います。また、別添のとおり関係者に通知していますので、了知願います。

記

1. サービスキャンペーンの対象の大・中型バスの検査をする場合には、点検ハンマーによる打音検査等により車両床下部の錆による腐食の有無を確認するなど、適切な検査に遺漏のないこと

別添 1 公益社団法人日本バス協会会長あての通知

別添 2 一般社団法人日本自動車整備振興会連合会会長あての通知

別添 3 各地方運輸局自動車技術安全部長及び内閣府沖縄総合事務局運輸部長あての通知

《参考資料》

三菱ふそうトラック・バス株式会社が提供している情報

- バスのフレームを錆から守る整備術（使用者様向け）

<http://www.mitsubishi-fuso.com/core/pdf/jp/service/service/ForUserBusUnderFloorMaintenance.pdf>

- 三菱ふそうバス車両床下の防錆点検と補修要領（整備者様向け）

http://www.mitsubishi-fuso.com/core/pdf/jp/service/service/160512_BusUnderFloorMaintenance.pdf

- 三菱ふそうバス車両床下の防錆点検と補修要領（簡易版）

http://www.mitsubishi-fuso.com/core/pdf/jp/service/service/160512_SimpleBusUnderFloorMaintenance.pdf

- 平成 28 年 3 月 24 日 [サービスキャンペーン] ふそうエアロミディ、エアロバス、エアロエース、エアロスター、エアロクイーン、エアロキングの緩衝装置（緩衝装置の取付部）に関するサービスキャンペーンについて

http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/news/recall/160324/SC160324_02.html